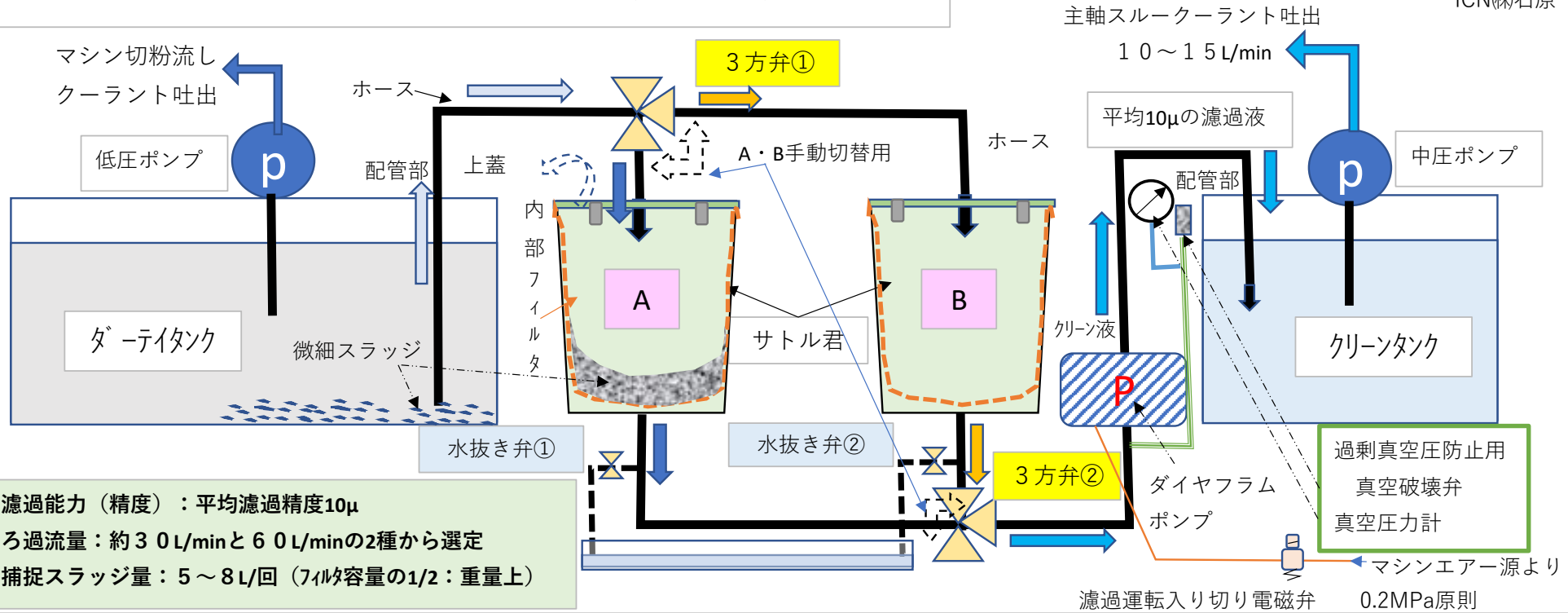


設備付き・サトル君による濾過システム（交互運転）の説明



設備付き・サトル君2台：□□による交互濾過運転の概要

- スラッジの溜まったダ-テイタンクよりAバキュームホース（パイプ付き）を通してサトル君：Aを通りダイヤフラムポンプによりクリーンタンクへクリーン液を投入し続け、定期的（マシンサイクルのカンターによる管理や週末の定時交換等）交互運転時期を決める。
- 定期交換清掃タイミングにてマシン運転（ポンプ関係含む）を止め、3方弁2ヶ所 ①②をA⇒B側に切り替え、水抜き弁 ①を開きBの水抜き弁 ②は閉じる。
- マシン稼働と共に濾過ポンプも運転開始（交互運転の切り替え時期までこの状態を維持する）・・・サトル君：Bを使い続ける。

※サトル君A内のフィルター溜まった切粉は水抜き時間を1時間～2時間経過が水分が抜けて作業し易い。（その日の作業終了時など数時間後でも可）

作業はサトル君の上蓋のパッチン錠を開き内部フィルターと取り出し切粉台車などへスラッジを入れる。

フィルターが破れていないか確認後フィルターの外側にスラッジがあれば軽くダ-テイタンククーラントで洗えば再利用出来る。

洗った内部フィルター（破れていた場合は新品フィルター）をサトル君Aの内部にセットし上部蓋を閉じておく。

- サイクルカンターや定時交換タイミングになったらマシンを止めたまま3方弁 ①と3方弁 ②をB⇒Aに切替え、水抜き弁 ②を開き水抜き弁 ①を閉じる。
- マシン稼働と共に濾過ポンプも運転開始（交互運転の切り替え時期までこの状態を維持する）・・・サトル君：Aを使い続ける。

※部はサトル君Aで行った作業と同じ様にサトル君Bも行い次の交換サイクル待ちとなりA/Bの交互運転は繰り返される。